

週報

2011.7～2012.6

国際ロータリー第2730地区 佐土原ロータリークラブ 第1202回 平成24年3月14日(水)

2011～2012年度
ロータリーテーマ



本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「手に手つないで」
3. 四つのテスト
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 出席報告
7. 委員会報告
8. 委員会討議
「CLPについて」
9. 次週例会の案内「SAA」
10. 点 鐘

2730地区ガバナー 長峯 基
中部分区ガバナー補佐 林 務
RT会長テーマ

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

2730地区テーマ
「善いことをしよう」

佐土原テーマ
「クラブ会員の絆を より深めよう」

3月のテーマ
「識字率向上月間」

3月度の例会予定

- 3月7日(水)・・・「1201回」ロータリー情報
「ロータリー情報委員長」
3月のセレモニー・理事会
- 3月14日(水)・・・「1202回」委員会討議「各委員会」
- 3月21日(水)・・・「1203回」会員卓話「山本 兼裕君」
- 3月28日(水)・・・「1204回」夜間例会「親睦委員会」

会長：荒武 義博
副会長：村上 實
幹事：永野 陽子
会報委員長：藤堂 孝一
会計：梶田 與之助
事務局：吉野由里子
宮崎市佐土原町下田島
11703-18
TEL：0985-62-7833
FAX：0985-62-7877
例会日：毎週水曜日
例会場：石崎の杜「鯨館」
TEL：0985-62-7757

第1201回の記録 会長の時間

今日は、本日は第1201回の例会です。先週の夜間例会1200回記念としたサンホテルでの例会は、いかがでしたか？早速、総支配人の林様より、お礼のはがきも届いていました。佐土原RCの第一候補の例会場として検討をしていきたいと考えています。

又、昨日は、宮崎ロータリークラブの例会に幹事と出席してきました。「職業奉仕授与式」がありまして陸上自衛隊都城駐屯地の黒木様が受賞されご夫婦で参加。盛大の中に式が行われました。初めて、宮崎ロータリークラブの雰囲気を経験させていただきました。

宮崎ロータリークラブの創設は奇しくも、私の生まれた年度と同じ昭和28年ということでもあり来年、60周年を迎えられる歴史のあるクラブだと感じました。

皆さんも、機会を作って頂き、是非他のクラブへメイクを実行されることを勧めます。

さて、話は変わりますが、今回受賞されました黒木様、自衛隊の災害復旧支援活動等の御話の中で感じましたことがありまして、それは今回の東日本大震災時の地元消防団員の犠牲者が多いことであります。

今回の震災で被災した岩手、宮城、福島で、死亡・行方不明となった消防団員は計253人に上った。消防庁などによると、公務中の犠牲者が8割で、住民の避難誘導や救助活動などに関わっていたときに犠牲になったものであり、今後は災害時の消防団員の指針のあり方や、安全をどう確保するか見直すことが重要だと考えますが、実際に災害に遭遇すると、やはり地元の消防団員は真っ先に、救助活動に向かうのでしょう。

この宮崎でも台風時の水門の開閉作業や避難誘導には、地元の消防団が活躍している光景を見てきました。253名の尊い犠牲のおかげで、助かった命があることも、忘れずにいたいものです。消防団を自衛隊と同じように、表彰してあげたい気持ちでいっぱいです。

3月11日で、早いもので1年が経ちます。

平成24年3月7日

< 荒武 義博 会長 >



幹事報告

< 文書案内 >

※(例会変更案内)

延岡ロータリークラブ
夜桜例会の為
3月21日(水):
ホテルメリージュ延岡
18:30～

3月28日(水):
特別休会

※2011～2012年度
地区大会

時実行委員長～地区大会ご参加の御礼文書

※地区RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)

委員：田村 智英～

クラブ協力とご理解のお願い文書



出席報告 < 出席委員長 吉田 康一郎 君 >

会員数	22名	メイク届	4名
出席免除	1名(正岡 文郁君)	正岡君・福井君・太田君	
出席者数	15名	大久保君	
欠席者数	7名	無断欠席者	無
有届け者	佐藤君・中武君	出席率	90.4%
	太田君・村岡君・正岡君	修正出席率	76.1%
	大久保君・福井君		

♪3月のセレモニー♪

☆3月結婚記念月～

梶田 與之助君
村上 實君

♪おめでとう
ございます♪



☆ハッピーBOX披露☆

< ニコニコへ >

※梶田 與之助君～3月15日は結婚記念日で、今年で49年になり来年は金婚式です。二人で力を合わせ頑張って迎えたいと思います。

< 財団へ >

※岩切 正司君～

地区研修セミナーに参加して参りました。

ロータリー情報

●ロータリー情報 林 厚雄君

ロータリー情報委員会の役目

◎ロータリーに関する知識や情報を提供し、会員意識の高揚に努めると共にコミュニケーションを図る。

◎新入会員に早くクラブに溶け込んで頂く為の機会を計画する。

●ロータリアンの資格
ロータリークラブの会員に

は、会社の経営者、支店長さん、お医者さん、弁護士さん、お坊さんなど社会の第一線で活躍されているあらゆる職業の方や、社会奉仕活動をされ、倫理活動に興味をお持ちの方などなたにも入会資格があります。

ただし、その地域における職業や団体を代表して会員になり、理想とする奉仕の道を広めていただきます。

(職業分類)

肩書きや地位には全く関係なく、さびしがり屋で友達が欲しい人、ご自分の職業を愛し努力している方、社会の人々のために、ささやかでも何か役立ちたいという心をお持ちの方、知性と友愛の精神を尊重し実践しようと努力される人であれば、会員として最も適任者と言えます。

●ロータリアンライフ

そもそもロータリークラブは孤独な人たちの「友情と親睦の渴望」から生まれました。その後、親睦を通じて生まれたエネルギーをもって「他人に対する思いやりの心」を奉仕の規範とし、「他人のために尽くそう」と努力している団体なのです。

ロータリアン（個人）は自己の日常の家庭生活においても、職業生活や社会生活においても、また、国際的な問題に直面した場合にも、この基本的な「思いやりの心」をもち研修、活動します。

▼ロータリーの綱領（目的）

第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。

第2 事業および専門職務の道德的水準を高めること。

ロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。

レベルアップ

第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。

第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

奉仕の理想とは

最もよく奉仕する者は最も多く報いられる

それは他人を思いやり、そして他人の為に尽くすことである。

地域の為に活動する事でロータリーを知って頂き、ロータリアンを尊敬される事が我々のロータリー活動や職業奉仕を通じて事業の活力の源になり得ます。

●会長エレクト 村上 實君

3月17日～18日と鹿児島県のPETへ参加して参ります。我がクラブが導入しておりますCLPにつきまして改めて皆さまのご意見を聞かせていただき参加して参りたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。



委員会報告

●岩切 正司君

次年度に向けまして引き受けさせていただきましたRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）について少しでもお時間をいただきます。

ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)は1992年2月に設立されて、1992年秋に、7510地区リーダーシップ研究会として最初のコースを実施しました。



現在、研究会は11ヶ国、7地域に於ける約40地区の共同事業として実施されています。RLIはリーダーシップ開発プログラムであり、日本国内2,300有余のロータリークラブのためにロータリーの知識とリーダーシップを増加させるように、ロータリークラブのリーダー候補者に供給するコースです。

研究会のすべての参加者は、クラブによって指名されて後援されなければなりません。コースは3部間に分かれており、それぞれの部門は、ロータリー年度を通じて各地で、丸一日提供されます。3部門の全過程を終了した人には、ロータリー・リーダーシップ研究会の特別なピンを与えて、RLIが後援する卒業セミナーに参加することができます。この研究会の参加者が、ロータリーの奉仕を改善するための情熱とクラブの管理を改善するための知識とリーダーシップの技術を得て、将来におけるクラブのリーダーシップに大きな影響を与えることを切望いたします。

ロータリーは世界での最高の奉仕団体です。最も国際的で、最も尊敬される人道的活動として、ポリオ・プラスなどが挙げられます。ロータリーの基本となるものは親睦と奉仕です。単独で行動する個人としても、大いに社会に対して貢献することができますが、グループとして行動するロータリアンの親睦は、奉仕の心をますます大きく奮いたたせます。

ロータリーは、地域社会や世界に奉仕しようという、事業と専門職務に携わる人々のエネルギーを活用しています。ロータリーの綱領の中で詳しく説明されているクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の四大奉仕は、世界中のクラブにおける全てのロータリー・プログラムにおける活動指針となります。他の奉仕団体とは違って、ロータリーは、一つの問題のみを強調するのではなく、地域社会のニーズに基づいて、そのニーズに適った奉仕活動を行います。この柔軟性こそが、世界中の何百万人もの人々の生活を良くするために貢献している、ロータリアンの創造性を活用することを可能にしたのです。

●広報委員長 藤堂 孝一君

CLP導入につきましては、佐藤会長・太田幹事年度だったと記憶しております。新会員の方も数名居りますので、経緯なども含めての話し合いの時間を来週のクラブ討議の中で持つのはいかがでしょうか。



四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

MEMO

例会中は携帯電話の電源を切るかマナーモードにしてください・・・